

天 祿 星

この星は人生にたとえますと、壯年期を迎えた時代、それが天祿星の世界なのです。

夢を追い求めた若き日、ガムシャラに頑張った青春の思いで。いろいろな体験と人生の知恵を、その根底において、じっくりと未来を見つめる重厚な思索、そこに天祿星の重みが存在するのです。世の中には守らなければならない約束があることも、人間の力量には限界が存在していることも、あるいは悲しい事・楽しい事なども、体全体で学んでいく世界です。この壯年期の知恵と落ち着きと、力強さが「安定」「用心深さ」「堅実」「観察力」等の表現になるのです。

壯年期の安定は、人間生活の中にあって、中堅の地位を保ち、冒険に走らず、守備力は堅いのです。

それが、外面から見れば用心深く、ときには小心者にさえ見える世界なのです。(それは小心者どころか、安定、堅実を第一と考える勇気ある者の姿なのです。)

何事に関しても常に全体的な観察力を持ち、まわりとバランスを上手に取りながら行動を起こし、争いがなく、また仕事など、自分に課せられた役割に対しては、実に粘り強く途中で退く事は決してしない世界でもあるのです(もし鬭争に至れば、敢然と戦うだけの勇気も持ち合わせてはいますが、まずは説得を試みてから次の行動を考えるという、ゆとりを失わないので)

■初年運(人体星図の肩のところに割り出された星で、この位置を算命術では「初元」の場所と言っています。)

生れてから成人に達するまでの初年運をみます。主として子供の頃に現れる性格や希望が現われますが、この星は青年になる迄のものの考え方や性格づけが発揮されるとともに、本人一生の性格として持ち続けられる星でもあるのです。三つ子の魂、百まで…のたとえで子供のころの性格は大人になんても消えるものではありません。

この場所に天祿星がある人は、絶対的な親の愛に守られて幼少期を過ごすという暗示があります。それでいて、決して我が慢には育っていません。のんびりしているようで、結構粘り強い面を持っています。それに、苦しみに耐えるガツツの持ち主ですから、目標を見失うことのない幼少期を過します。(入試、入社試験には力を発揮出来る運勢です。)

●人体星図に天祿星が二つ以上出ている人は、化学、薬学など特殊技能の世界で力を発揮する運勢をもっています。(もしこの分野の進まなければ、不満の多い一生になります。)

■中年運(人体星図の左足の位置に割り出された星で、この位置を算命術では「中元」の場所と言っています。)

青年期から壯年期にかけての運勢を算定します。人生のアイデンティティ(役目意識)はここに算出された星から生まれます。また職業意識や社会観なども、この星から生まれると云っても過言ではないでしょう。

この場所に天祿星がある人は、堅実な中年期を過ごす暗示があります。家族が仲良くまとまり、まわりからも信頼されます。経済的にも不自由する事なく、精神的にも落ちついた中年期の生活が暗示されています(この天祿星という星は中年運のところに算出されるのが一番理想とされ、「一落千丈」的な下降運をたどることがない中年運の暗示としています。)

■晩年運(人体星図の右足の位置に割り出された星です。)

晩年期の運勢を算定します。人生の究極においてどのような人間性と悟りが持てるかをこの星で量ります。算命術では、この位置を「本元」とも言いますが、それは人生を生き抜いて来た社会に対する役目や価値を見つけ出す大切な場所という意味からです。

この場所に天祿星がある人は、気力と体力に恵まれ、精神的にも安定した穏やかな晩年という暗示があります。手塩にかけた子供たちも、それぞれ落ち着き、静かに自分の歩いて来た人生を振り返ることのできる老後でしょう。

●天祿星が右足にある人は、もう片方の足のところに、天極星か天馳星という星が出ていないか調べて下さい。

もしも、出ているようでしたら、この人は一生を通じて左足に疾患をもつかケガが多くなります。